

組合員とともに「パルシステム東京平和政策」にもとづいた平和活動を推進します。

- ・平和な共生の世界をめざします
- ・一人ひとりが尊重され、いのちを大切にする社会づくりをすすめます
- ・次世代が希望を持てる地域をつくります

Pray for Peace



一人ひとりの協力で
私たち平和の取組みが続いています。

平和カンパ

詳細はこちら▶



2024年度実績 1996年度から取組んでいる「平和カンパ」は総額27,071,877円となりました。

贈呈先（国際協力NGO団体）	プロジェクト名	贈呈額
ペシャワール会	命の水を待ち望む子どもたちへ（アフガニスタン）	1,041,495円
JIM-NET	小児ガン・白血病などの治療を受ける子どもたちへ（イラク）	841,753円
シャンティ国際ボランティア会	学びの場を待ち望む子どもたちへ（タイ・ミャンマー国境の難民キャンプ）	792,946円
チェルノブイリ子ども基金	小児ガンなどの治療を受ける子どもたちへ（ウクライナ・ベラルーシ）	802,286円
AARJapan【難民を助ける会】	学びの場を待ち望む障がいのある子どもたちへ（カンボジア）	807,814円
パレスチナ子どものキャンペーン	爆撃で破壊されたガザ地区の子どもたちへ（パレスチナ・ガザ地区）	1,758,098円
シェア＝国際保健協力市民の会	栄養改善が最も必要な子どもたちへ（カンボジア）	825,628円
	合計	6,870,020円



平和の女神エイレーネ

書き損じはがき等回収 キャンペーン

2024年度実績



3団体の国際協力NGO団体と協力して、みなさまからお送りいただいた切手やはがきは換金され世界の恵まれない子どもたちの支援につながります。

国際協力NGO3団体	換金額/寄付関数
ハンガ・ーフリー・ワールド	3,917,348円/1,833件
シャプラニール＝市民による海外協力の会	4,005,569円/ 1,761件
日本国際ボランティアセンター（JVC）	3,507,234円/ 1,966件
合計	換金額11,430,151円/寄付件数5,610件



詳細はこちら▶



エコ&ピースナビゲーター



食材のお届けだけではなくパルシステム東京が取り組んでいる社会活動について毎年不定期に組合員へ配布している「エコ&ピースナビゲーター」

- Vol.43 「フェイクニュース」
- Vol.44 「原爆投下から79年、今私たちにできること」
- Vol.45 「沖縄から平和を考えてみよう」

ごあいさつ 生活協同組合パルシステム東京 理事長 松野 玲子

ウクライナやガザなど世界中で紛争がやまないなか、2024年日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）がノーベル平和賞を受賞しました。この受賞は、国境や世代を超えて共感を広め「非核」へのムーブメントをつくってきた日本被団協の活動に世界が共感し、平和への希望としたことにほかなりません。広島・長崎での原爆投下のみならず、沖縄での戦い、そして東京大空襲など戦争の記憶をしっかりとどめ、現在を「戦前」にしないよう、一人ひとりができる平和への取り組みを進めていきましょう。子どもたちの未来のために。





ヒロシマ

8月4日～8月6日



平和ガイド多賀俊介氏は、遺構を訪ねる際に必ず一礼します。その敬虔な姿は参加した私たちの心に響き、亡くなられた方お一人おひとりに向き合う時間となりました。1945年8月6日の快晴の朝、8時15分に「リトルボーイ」が本川と元安川の分岐点に架かる相生橋をめがけて投下されました。その同時刻に、平和祈念式典にて約5万人の参列者とともに黙とうをささげ、慰霊の気持ちを新たにしました。

ナガサキ

8月8日～8月10日



ナガサキ平和スタディツアーには長崎への訪問が初めての組合員が多く参加し、原爆投下日に合わせてそれぞれの思いを胸に平和祈念式典に参加しました。最終日には、7月の事前学習会で講演していただいた田中安次郎氏が平和案内人として来てくださり、ご自身の被ばく体験も交えながら浦上天主堂などを案内いただきました。原爆投下から79年、決して忘れることのないあの日を改めて感じ、「平和」について深く考える貴重な機会となりました。

知り、学び、平和を考える

日本の戦跡を巡る



6月1日



毎年夏に組合員に呼びかけているパルシステム東京「平和カンパ」の推進企画として、「ピースフェス2024」を開催しました。中村哲也氏（パレスチナ子どものキャンペーン）、と佐々木真理氏（チェルノブイリ子ども基金）にご登壇いただき、パレスチナ、ウクライナで起きている深刻な人道危機についての生の声を伺いました。また、同団体が支援している人々が制作したクラフト品等も販売し、支援活動をより深く知る機会となりました。

ピースフェス

2024

国内難民について考える 2025年2月8日

おとなりカフェ

Night Peace Cafe スピンオフ企画

2024年度方針に基づき「国際協力と難民支援活動を目的とした企画を開催しました。スリランカ出身のナビーン氏本人が調理を担当し、母国の料理をふるまいました。また、反貧困ネットワークの加藤美和氏に入管法や難民の現状について講演していただきました。料理を通して、難民に対する親和性や理解を深め、今後ボランティア参加等につなげていきます。



憲法カフェ

第1回 9月7日
第2回 2025年2月11日

中村紘己弁護士をお迎えして2回開催

第1回目は日々の暮らしの視点から日本国憲法を学び、平和・自由・権利について、憲法紙芝居やカルタを交えてお話いただきました。普段憲法になじみのない方にもわかりやすい資料で、参加者からは「ぜひシリーズ化してほしい」「憲法を知ることが大事」など、好評の声をいただきました。



第2回目は、平和・自由・権利、そして憲法がどのように作られたのかを、おすすめの本の紹介も交えながらわかりやすくお話いただきました。参加者からは「私たちが自分たちの権利について学び、政治家の暴走を防ぐためによく勉強しなければいけないと気づかされました」などの感想をいただきました。



オキナワ

2025年3月26日～3月28日

沖縄戦から80年。この節目の年に全国の生協が参加する平和企画。沖縄県の戦跡を訪れ、戦争体験者のお話を聞くことにより、沖縄戦の実相や現在に至る基地問題を学びました。パルシステム東京では、戦争の恐ろしさや悲惨さを学び、核なき世界の実現に向けて行動する活動の一環として、今年は7名の組合員が参加しました。



都立第五福竜丸展示資料館 船上お掃除ボランティア

9月28日

今年、マーシャル諸島ビキニ環礁でアメリカが行った水爆実験から70年になります。賛助会員にもなっている公益財団法人第五福竜丸平和協会との初めての企画です。第五福竜丸のことを学ぶだけでなく、船内・船上のお掃除をする貴重な機会に、組合員から多くの申し込みがありました。参加者からは「実際にここに来て、見て、触れて、保存していく大切さと大変さを実感しました」などの感想が寄せられました。



2025年3月には春休み親子企画「牛乳パックで第五福竜丸をつくろう！」企画も開催しました。



2024年度 主な平和活動

開催日	企画名・内容	参加人数（内訳：組合員参加）
2024年 2月～5月	国際協力NGO3団体の「書き損じハガキ等回収キャンペーン」を実施 ハンガー・フリー・ワールド シャプラニール・市民による海外協力の会 日本国際ボランティアセンター（JVC） 合計寄付件数 5,610 件 換金額11,430,151円	
4月14日	ピースアクション in Tokyo ～つないでつないで 東京から平和を～ 平和と核兵器根絶を訴える企画。広島・長崎両市長からのメッセージ 他	会場98名、オンライン31名
6月1日	ピースフェス!! 2024 ～「ガザ地区への攻撃と人道危機」2024年度平和カンパ推進企画～	会場18名、オンライン16名
7月1日～8月9日	【平和カンパ】組合員から寄せられたカンパ 総額 6,870,020円 を国際協力NGO等7団体に贈呈	
7月20日	夏休み！家族deピースシネマ「いしづみ」上映会&未来へつなげよう！被爆者のお話	会場42名、オンライン13名
8月4日～6日	ピースアクション in ヒロシマ（ヒロシマ平和スタディツアー） 平和ガイド：多賀 俊介氏(1日目)、森 武司氏(2日目)	組合員8名、理事1名、職員5名
8月8日～10日	ピースアクション in ナガサキ（ナガサキ平和スタディツアー） 平和ガイド：田中 安次郎氏（3日目）	組合員6名、理事1名、職員4名
9月7日	憲法カフェ「教えて！なかこう先生」 ～私たちの『あたりまえ』は憲法がつくったということ～	会場7名、オンライン29名
9月18日	Night Peace Café Vol.5 「多文化共生大久保まち歩き」	15名
9月28日	第五福竜丸を知ろう、船上お掃除ボランティア	10名
2025年 2月8日	Night Peace Cafe スピンオフ企画「知って！食べて！国内難民支援」 ～みんなで支援「おとなりカフェ」国内難民支援とは、仮放免ってなあに？～	17名
2月10日	韓国高陽坡州（コヤンパジュ）ドゥレ生協&パルシステム オンライン交流会	役職員15名
2月11日	もっと憲法カフェ第2弾「憲法はあなたの味方です！」	会場4名、オンライン31名
3月23日	春休み親子企画「牛乳パックで第五福竜丸をつくろう！」	18名
3月26日～28日	ピースアクション in オキナワ～第42回沖縄戦跡・基地めぐり～ 「沖縄から学ぶ過去・現在・未来」/主催：日本生協連、沖縄県生協連	組合員8名、職員2名

パルシステム東京はこれからも多様な参加形態を模索しながら平和への関心を広めてまいります。

深化し続ける

Night Peace Cafe

2024年9月18日の夜に開催したNight Peace Cafe。テーマは多文化共生。人種のるつぼ大久保でライター「室橋裕和氏」を道先案内人に迎え、書き損じはがき等回収キャンペーンでおなじみ「シャプラニール＝市民による海外協力の会」との共催で開催。前半は人種や文化などの違いをクローズアップしてレクチャー、後半は夜の久保界隈をフィールドワーク。参加者は普段と違う街の横顔に興味津々でした。



何気ない日常に新しい気づきが生える。



対外的にも

平和をアピール

アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に対して抗議文を提出しました。

2024年5月27日

2024年5月27日、パルシステム東京はアメリカ合衆国大使館に対して「核兵器なき世界」の実現に向けて、核兵器禁止条約に加わり、NPT（核兵器不拡散条約）及びG7で約束した誠実な核軍縮に取り組むことを強く求め、抗議文を提出しました。